

参考資料 3 環境指標の推移

基本目標	方針	施策	施策（取組）の内容	重点P指標	環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の評価	目標値 (目標年度)
							H28	H29	H30		
1 豊かな緑と水や多様な生物を育むまち	1・(1) 緑と水の保全・再生	1-① 緑の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■調布を特徴づける緑の保全と維持管理の推進 ■湧水・河川等の水辺環境との一体的な保全 	-	みどり率	36.0% (H22)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	-	36.0% (R2)
				★	公共が保全する緑の面積 (指標の対象となる緑とは、市や東京都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地に対し市が補助している保全地区を示す。)	146.63ha (H26)	148.91ha	149.50ha	149.16ha	○	149.85 ha (R7)
				-	市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数	5箇所 (H26)	5箇所	5箇所	5箇所	○	8箇所 (R7)
	1-② 水辺環境の保全・再生	<ul style="list-style-type: none"> ■雨水浸透の推進による湧水保全及び河川水源の涵養 ■健全な水循環の形成に向けた啓発 ■開発事業等における地下水・湧水保全への配慮 ■市民等との協働による水辺環境の維持管理 	★	浸透設備等の設置による雨水の浸透能力	66,828m ³ /h (H26)	78,151m ³ /h	82,294m ³ /h	89,627m ³ /h	◎	115,600m ³ /h (R7)	
			-	雑木林ボランティア講座の延べ受講者数	72人 (H26単年度)	51人	126人 (75人)	163人 (37人)	○	800人 [延べ人数] (R7)	
	1-③ 里山環境の維持・保全	<ul style="list-style-type: none"> ■農地の保全に向けた仕組みづくり ■里山環境の総合的な維持・保全と活用 	-	市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数（再掲）	5箇所 (H26)	5箇所	5箇所	5箇所	○	8箇所 (R7)	
			-	自然環境調査の実施回数	7回 (H26単年度)	6回	12回 (6回)	19回 (7回)	◎	63回 [延べ回数] (R7)	
	1・(2) 全・活用 生物多様性の保全	1-④ 生物の生息空間の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性の保全に向けた総合的な取組の推進 ■生態系ネットワークの形成 ■在来種の保護及び特定外来生物（植物）の駆除 ■生物に関する基礎資料のデータベース化に向けた仕組みの検討 	-	特定外来生物（植物）駆除活動における対象面積	875m ² (H26)	1,750m ²	3,500m ² (1,750m ²)	5,250m ² (1,750m ²)	◎	17,500m ² [延べ面積] (R7)
				-	自然観察会の実施回数	7回 (H26単年度)	7回	14回 (7回)	20回 (6回)	○	70回 [延べ回数] (R7)
	1-⑤ 多様な自然環境の活用	<ul style="list-style-type: none"> ■緑や水辺環境におけるふれあい学習の推進 ■自然環境の活用 	-	自然体験学習の参加者人数	877人 (H26単年度)	780人	1,470人 (690人)	3,170人 (1,700人)	◎	9,000人 [延べ人数] (R7)	

評価	・計画どおり（計画以上）に目標を達成した。 ・予定した取組成果が得られた。	◎
	・おおむね計画どおりに目標を達成した。 ・一定の取組成果が得られた。	○
	・目標達成までには至らなかった。 ・予定した取組成果が得られなかった。	△

基本目標	方針	施策	施策（取組）の内容	重点P指標	環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の評価	目標値 (目標年度)
							H28	H29	H30		
2 人と環境が調和する快適で美しいまち	2・ (1) 美しい街並みの形成	2-① 景観形成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■自然の眺望を活かした都市景観づくり ■調和のとれた街並みの形成 ■洗練された街並みの保全・創出 	-	公共が保全する緑の面積（再掲） （指標の対象となる緑とは、市や東京都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地に対し市が補助している保全地区を示す。）	146.63ha (H26)	148.91ha	149.50ha	149.16ha	○	149.85ha (R7)
					無電柱化道路延長	0m (H26)	337m	1,177m (840m)	1,177m (0m)	○	1,380m [延べ距離数] (R7)
		2-② 歴史・文化環境の保全・継承	<ul style="list-style-type: none"> ■歴史・文化環境の保全・継承 ■歴史・文化を活かした景観づくりの推進 	-	調布には優れた景観があると思う市民の割合	84.3% (H26単年度)	83.4%	81.3%	82.5%	○	85.0% (H30)
	2・ (2) 快適な空間の確保	2-③ まちのうらおいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ■緑が豊かな環境づくり ■公園・緑地等の適正配置と維持 	-	花いっぱい運動の実施箇所数	34箇所 (H26単年度)	45箇所	47箇所	52箇所	◎	51箇所 (R7)
					市民一人当たりの公園面積	5.77m ² (H26)	5.58m ²	5.54m ²	5.48m ²	○	5.66m ² (R7)
		2-④ 都市美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■公衆マナーの順守を目指した意識啓発 ■市民参加による美化活動の推進 ■美化対策の推進 	-	美化推進重点地区数	7地区 (H26)	8地区	8地区	8地区	○	11地区 (R7)
					美化活動に参加した市民の数	9,513人 (H26単年度)	10,380人	8,423人	7,370人	○	10,000人 (R7)

基本 目標	方針	施策	施策（取組）の内容	重点P 指標	環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の評価	目標値 (目標年度)
							H28	H29	H30		
3 安心して暮らせる生活環境が確保されるまち	3・(1) 公害のない環境の維持	3-① 大気汚染の 防止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業活動に伴う大気汚染の防止 ■ 自動車排出ガスによる大気汚染の防止 ■ 微小粒子状物質 (PM2.5) による環境汚染への対応 ■ 悪臭・臭気等の発生防止 	-	二酸化窒素 (NO ₂) の環境基準の年間未達成日数 (環境基準: 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppm内又はそれ以下であること)	1日 (H26単年度)	0日	0日	0日	○	0日 (R7)
				-	浮遊粒子状物質 (SPM) の環境基準の年間未達成状況 (環境基準: 1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること)	0日 0時間 (H26単年度)	0日 0時間	0日 0時間	0日 0時間	○	0日 0時間 (R7)
				-	微小粒子状物質 (PM2.5) の環境基準の年間未達成状況【参考】 (環境基準: 1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。この環境指標では、1日平均を確認)	0日 (H26単年度)	0日	0日	0日	○	0日 (R7)
		3-② 水質汚濁の 防止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工場排水の水質汚濁負荷の低減 ■ 家庭における生活排水対策の推進 	-	雨天時における処理場を含む各吐口からの放流水のBOD値 (平均放流水質)	40mg/L以下 (H26単年度)	23.4mg/L	22.8mg/L	18.5mg/L	◎	40mg/L以下 (R7)
		3-③ 騒音・振動 の発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業活動に伴う騒音・振動の発生抑制 ■ 道路交通騒音・振動の発生抑制 ■ 生活騒音の発生抑制 	-	道路交通騒音の要請限度数値の未達成地点数	1地点 (H26単年度)	1地点	1地点	1地点	○	0地点 (R7)
				-	騒音苦情が寄せられた工場・指定作業場における規制基準順守状況	85% (H26単年度)	85%	85%	85%	○	100% (R7)
		3-④ 化学物質等 の対策の推 進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有害化学物質による汚染の防止 ■ 化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進 ■ 地下水保全に向けた調査・規制 ■ 放射線等に関する情報の蓄積・提供 	-	空間放射線量の測定監視回数及び除染基準を超えた回数	120回【0回】 【】内は除染基準を超えた回数 (H26単年度)	120回 【0回】	120回 【0回】	120回 【0回】	○	120回【0回】 【】内は除染基準を超えた回数 (R7)

基本 目標	方針	施策	施策（取組）の内容	重点P 指標	環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の評価	目標値 (目標年度)
							H28	H29	H30		
4 低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち	4・(1) 低炭素まちづくりの推進	4-① 省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■住居の省エネ化及び家庭における省エネ行動の普及推進 ■公共施設や事務所等における省エネルギーの推進 ■低燃費車等の利用及びエコドライブ普及の啓発 	-	市役所から排出されるCO ₂ の削減（市役所の事務事業（市役所を構成する組織が管理する施設及び車両）が対象）	14,859t-CO ₂ (H26単年度)	14,856t-CO ₂	15,667t-CO ₂	14,555t-CO ₂	○	13,343t-CO ₂ (R7)
				-	街路灯のLED化（街路灯をLED化した道路整備距離数）	0m (H26)	337m	337m (0m)	337m (0m)	○	1,380m [延べ距離数] (R7)
				-	市域から排出される温室効果ガス排出量【参考指標】（オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において算出・公表。数値は2年遅れの公表となる。）	829kt-CO ₂ (H24)※1	793kt-CO ₂ (H26)	740kt-CO ₂ (H27)	732kt-CO ₂ (H28)	○	705kt-CO ₂ (R5)※1
		4-② 再生可能エネルギー等の活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ■再生可能エネルギー利用設備等の導入推進 ■再生可能エネルギー等の活用に向けた調査・研究 	★	補助要綱に基づく補助金交付対象となった太陽光発電システムの公称最大出力（補助要綱：調布市太陽光発電設備等取付け等工事費補助金交付要綱（平成25年要綱第29号））	367.88kW (H26)	280.36kW	400.37kW (120.01kW)	562.53kW (162.16kW)	○	2,520kW [延べ出力] (R4)
				-	補助要綱に基づく補助金交付対象となった家庭用燃料電池の助成件数（補助要綱：調布市地球温暖化対策住宅用機器購入費補助金交付要綱（平成23年要綱第85号））	105件 (H26)	173件	307件 (134件)	516件 (209件)	◎	700件 [延べ件数] (R4)
				-	公共施設に設置した太陽光発電システムの公称最大出力	993.8kW (H26)	993.8kW	1001.34kW	1,030.31kW	◎	1,043.5kW (R7)
	4-③ 環境に配慮したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■緑を活かした地球温暖化への対応 ■交通体系の低炭素化 ■エネルギーの有効利用の推進 	-	みどり率（再掲）	36.0% (H22)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	-	36.0% (R2)	
			-	市域から排出される温室効果ガス排出量【参考指標】（再掲）（オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において算出・公表。数値は2年遅れの公表となる。）	829kt-CO ₂ (H24)※1	793kt-CO ₂ (H26)	740kt-CO ₂ (H27)	732kt-CO ₂ (H28)	○	705kt-CO ₂ (R5)※1	
	4-④ 地球温暖化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■地球温暖化に関する情報の提供 ■ライフスタイルによる適応 ■気候変動に伴う異常気象への適応 	-	浸透設備等の設置による雨水の浸透能力（再掲）	66,828m ³ /h (H26)	78,151m ³ /h	82,294m ³ /h	89,627m ³ /h	◎	115,600m ³ /h (R7)	
			-	地球温暖化に係る情報提供回数	25回 (H26単年度)	32回	33回	29回	◎	28回 (R7)	

※1 オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において算出・公表している数値を使用しており、2年遅れで数値が確定することから、基準年度と目標年度は他の環境指標と異なる。

基本目標	方針	施策	施策（取組）の内容	重点P指標	環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の評価	目標値 (目標年度)
							H28	H29	H30		
4 低炭素で循環型の社会の形 成を目指し実現するまち	4・ (2) の 循環型まちづくり	4-⑤ 3R推進によるごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみの発生抑制に向けた啓発 ■市民・事業者の自主的な取組の支援 	★	市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	374.2g/人日 (H29)※2	377.9g/人日	374.2g/人日	370.8g/人日	◎	360g/人日 (R4)※2
		4-⑥ ごみの適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみの安定処理の確保 ■不法投棄対策の充実 	-	最終処分量（埋立量）	0 (H29)※2	0	0	0	○	0 (R4)※2
				-	総資源化率	43.5% (H29)※2	44.2%	43.5%	43.2%	◎	43% (R4)※2
5 みんなの力でより良い環境を目指すまち	5・ (1) 環境情報の整備・共有	5-① 環境情報の集約・活用・発信	<ul style="list-style-type: none"> ■環境情報の集約・活用 ■環境情報の提供 ■環境情報発信の検討 	-	市報や環境年次報告書等による環境情報の提供回数	104回 (H26単年度)	111回	132回	126回	◎	115回 (R7)
		5-② 活動を継続する担い手の育成と啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■学校での環境教育の推進 ■地域での環境学習の支援 ■環境についての伝承や活動をリードする人材の育成 ■市民意識の高揚のためのイベント・キャンペーンの実施 ■小中学生などに適した啓発活動の実施 	★	多摩川自然情報館のボランティア解説員養成講座を受講し、解説員として登録するボランティア人数	19人 (H26)	24人	25人	27人	◎	40人 (R7)
				-	調布こどもエコクラブ加入者数	55人 (H26単年度)	38人	72人 (34人)	96人 (24人)	△	500人 [延べ人数] (R7)
	5・ (2) 人材の環境育成活動を担	5-② 活動を継続する担い手の育成と啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■学校での環境教育の推進 ■地域での環境学習の支援 ■環境についての伝承や活動をリードする人材の育成 ■市民意識の高揚のためのイベント・キャンペーンの実施 ■小中学生などに適した啓発活動の実施 	★	雑木林ボランティア講座の延べ受講者数（再掲）	72人 (H26単年度)	51人	126人 (75人)	163人 (37人)	○	800人 [延べ人数] (R7)
5・ (3) 連携強化の基盤				5-③ 市民・事業者・市等の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ■環境保全活動の拠点となる場の提供 ■活動支援のための制度・仕組みづくり ■環境保全活動の環（わ）の拡大 	-	環境連携事業数	58回 (H26単年度)	63回	128回 (65回)	192回 (64回)

※2 調布市基本計画及びその他の個別計画等により定められた指標等を本計画に活用したものについては、活用した計画が改定等された時点で、本環境指標についても見直しを行っている。